

関係副詞 10分小テスト（標準・24点）

年 組 番 名前_____

この紙のゴール：うしろの文がそろっているかで関係詞を選び、場面に合わせて使える / 語群なし。自分の力で形を思い出して書きます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。 知識・技能 各3点

(1) 地元を案内しながら	This is the school (which / where) I studied for three years.
(2) 同じ学校の話を続けて	This is the building (where / which) they built last year.
(3) 部活のアルバムを見て	This is the year (when / which) I joined the brass band.
(4) 勉強のしかたを聞かれて	This is (the way how / how) I memorize new words.

2 対話を通じるように () に英語を書こう。 知識・技能 各2点

A: Do you know a good place () we can study after school?
B: The city library. That is the reason () I always carry my library card.
A: Nice. Then I can study () I go.
B: Then let's meet at the gate at four.

3 自分のことを書こう。 思考・判断・表現 2点

「自分にとって意味のある場所」を、関係副詞を使って英語1文で。

4 うしろの文を見て、何が変わるかを読み取ろう。 思考・判断・表現 各2点

同じ公園について話します。どちらも英語として正しい文です。
A This is the park where we played as children.
B This is the park which we cleaned last month.

① うしろの文に「穴」があいているのはどちらですか。記号で答えよう。

② Bの which を where に変えると、なぜ誤りになりますか。

解答

1		2	
(1)	where	(1)	where
(2)	which	(2)	why
(3)	when	(3)	wherever
(4)	how		

3（解答例） This is the classroom where I spend my lunch break.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	B	先行詞はどちらも the park。Aは played で文がそろい、Bは cleaned の目的語が欠けている—決めるのはうしろの文。
②	cleaned の目的語が行き場を失うから。（一例）	where は「そこで」の意味まで引き受けるので、目的語の席を埋められない。ここを説明できれば、この単元の芯が分かっている。

採点のめやす

- ・大問1は(1)(3)(4)が関係副詞、(2)だけが関係代名詞です。「関係副詞の単元だから全部 where / when」と当てにいった答案は(2)が落ちます—(1)と(2)は先行詞が同じ場所なのに関係詞が変わるので、返却時にここを1分取り上げてください。
- ・大問1(4)は the way how が誤りである一点を見えています。how だけが先行詞を取らない例外だと知っていれば落としません。
- ・大問2は3語とも語群の並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。(3)は wherever で、「どこへ行っても」の意味です。where では意味が通らないので一意に決まります。
- ・大問3は関係副詞（where / when / why / how）が入っていて、うしろの文がそろっていれば内容は問いません。where のうしろの文から目的語を落とす誤り（the place where I like）が最も多く出ます。
- ・大問2は標準版・発展版に語群がありません。(1)は where、(2)は the reason に続くので why、(3)は wherever でいずれも一意です。(3)を where と書いた答案は「行く場所で勉強できる」となり文意が通らないので不正解にしてください。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。①は「うしろの文に穴があるか」に触れていれば表現は問いません。「場所だから where」とだけ書いた答案は、この単元の手順が入っていない合図です。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図に why・how・複合関係詞の行が無いので、大問1(4)と大問2(2)(3)を外して17点満点で扱ってください。基礎固め帯は複合関係詞が範囲外なので大問2(3)だけを外して22点満点。実力帯・入試帯は24点満点です。大問1(2)はどの帯にも残します—この単元でただ1つ「関係副詞ではない」問題なので、ここを落とした答案は手順がまだ入っていません。
- ・発展版の大問3（理由の1文）は関係副詞でなくてよいことを採点前に確認してください（Because I feel calm there. で正解です）。
- ・発展版は大問1が「（ ）に入る語句を自分で書く」記入式です。which の代わりに that を書いた答案は正解にしてください（(2)は that も可）。(1)は in which、(3)は in which も正解です—指示文の「前置詞とセットで2語になるものもある」はこの2問を指しています。(4)は how のほか the way も可。the way how だけが誤りです。
- ・大問4を加えて24点構成です。10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。